



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月27日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5727 URL <http://www.toho-titanium.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 佳宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 井ノ川 朗 TEL 0467-87-2614  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	10,502	16.5	1,129	25.4	1,387	62.3	976	74.7
2018年3月期第1四半期	9,015	14.1	900	40.4	854	△5.1	559	△4.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 977百万円 (75.7%) 2018年3月期第1四半期 556百万円 (8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	13.73	—
2018年3月期第1四半期	7.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	85,755	42,301	49.2
2018年3月期	83,945	42,037	49.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 42,177百万円 2018年3月期 41,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,600	26.9	2,900	50.4	3,000	60.4	2,000	52.4	28.10
通期	42,600	14.3	4,400	11.9	4,400	25.9	3,700	9.0	51.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2018年7月27日）公表いたしました「2019年3月期 第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	71,270,910株	2018年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	97,609株	2018年3月期	97,609株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	71,173,301株	2018年3月期1Q	71,173,405株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善がみられ、緩やかな回復基調が続きました。

こうした中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比16.5%増の105億2百万円となり、営業利益は前年同期比25.4%増の11億29百万円、経常利益は13億87百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億76百万円となりました。

## 金属チタン事業

当第1四半期連結累計期間における金属チタンの需要については、主な最終需要である航空機の生産が堅調であったほか、一般工業用では電力向け等の需要があり、総じて安定的に推移しました。

こうした状況のもと、同期間の売上高は、スポンジチタンの増販を主因として前年同期比26.4%増の66億1百万円となり、営業利益は4億8百万円となりました。

## 機能化学品事業

当第1四半期連結累計期間において機能化学品の需要は概ね堅調に推移しました。

こうした状況のもと、同期間の売上高は、前年同期比2.8%増の39億円となり、営業利益は13億29百万円となりました。

## セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区 分	2019年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減率
金属チタン事業	6,601	5,221	26.4%
機能化学品事業	3,900	3,793	2.8%
合 計	10,502	9,015	16.5%

## セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区 分	2019年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減率
金属チタン事業	408	236	72.2%
機能化学品事業	1,329	1,249	6.4%
全 社 費 用	△607	△585	—
合 計	1,129	900	25.4%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現預金、売上債権の増加等により、前連結会計年度末比18億10百万円増の857億55百万円となりました。

負債の部は、短期借入金、未払金の増加等により、前連結会計年度末比15億45百万円増の434億53百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2億64百万円増の423億1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.9%から49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2018年4月26日に公表いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想及び通期連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日(2018年7月27日)公表の「2019年3月期 第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、第2四半期累計期間の業績予想及び通期連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,184	2,437
受取手形及び売掛金	6,350	7,003
商品及び製品	13,741	13,341
仕掛品	5,647	5,841
原材料及び貯蔵品	3,837	3,806
未収入金	2,715	3,098
その他	292	214
流動資産合計	33,769	35,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,773	13,611
機械装置及び運搬具(純額)	21,953	21,501
工具、器具及び備品(純額)	148	178
土地	2,219	2,219
リース資産(純額)	4,294	4,143
建設仮勘定	625	1,689
有形固定資産合計	43,015	43,345
無形固定資産		
ソフトウェア	172	164
その他	59	57
無形固定資産合計	231	222
投資その他の資産		
投資有価証券	78	99
関係会社株式	5,155	5,155
繰延税金資産	1,001	673
退職給付に係る資産	182	190
その他	513	327
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,929	6,445
固定資産合計	50,176	50,012
資産合計	83,945	85,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027	2,202
短期借入金	18,586	20,304
リース債務	587	570
未払法人税等	325	133
賞与引当金	916	331
役員賞与引当金	88	19
その他	1,565	2,559
流動負債合計	24,098	26,122
固定負債		
長期借入金	12,874	12,529
リース債務	3,823	3,684
資産除去債務	1,111	1,117
固定負債合計	17,810	17,331
負債合計	41,908	43,453
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	16,860	17,125
自己株式	△76	△76
株主資本合計	41,769	42,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	59
繰延ヘッジ損益	△1	△4
為替換算調整勘定	49	47
退職給付に係る調整累計額	48	39
その他の包括利益累計額合計	141	142
非支配株主持分	125	123
純資産合計	42,037	42,301
負債純資産合計	83,945	85,755

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	9,015	10,502
売上原価	6,757	7,960
売上総利益	2,257	2,541
販売費及び一般管理費	1,356	1,412
営業利益	900	1,129
営業外収益		
為替差益	4	303
物品売却益	4	5
受取技術料	6	6
その他	3	4
営業外収益合計	19	320
営業外費用		
支払利息	59	53
その他	5	9
営業外費用合計	65	62
経常利益	854	1,387
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	853	1,386
法人税、住民税及び事業税	29	84
法人税等調整額	267	325
法人税等合計	296	409
四半期純利益	556	977
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	559	976



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	556	977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	14
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	6	△1
退職給付に係る調整額	△11	△9
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	556	977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	558	977
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,221	3,793	9,015	—	9,015
セグメント間の内部売上高又は 振替高	331	2	333	△333	—
計	5,552	3,796	9,348	△333	9,015
セグメント利益	236	1,249	1,486	△585	900

(注) 1.セグメント利益の調整額△585百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,601	3,900	10,502	—	10,502
セグメント間の内部売上高又は 振替高	410	1	412	△412	—
計	7,012	3,901	10,914	△412	10,502
セグメント利益	408	1,329	1,737	△607	1,129

(注) 1.セグメント利益の調整額△607百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。